

林 務 課

1 概 況

森林は、諏訪湖を取り囲む山地と、八ヶ岳・霧ヶ峰山麓及び釜無山・入笠山山麓等に分布し、カラマツ、アカマツが主要樹種となっている。

管内の森林面積は、50,805ha、森林率 71.0%（県全体 78.1%）で、うち民有林は、41,800ha である。なお、主要樹種であるカラマツは、18,398ha で民有林立木地面積の46%を占めている。

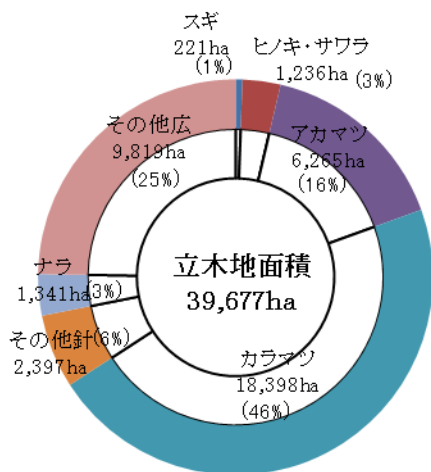
(1) 市町村別森林面積等

(令和元年9月1日現在)

市町村名	項目	総面積 ha	森林面積 ha	森林率 %	民 有 林	
					面積 ha	蓄積 千m ³
岡 谷 市		8,510	5,675	66.7	5,653	1,260
諏 訪 市		10,917	7,278	66.7	7,278	1,437
茅 野 市		26,659	20,085	75.3	15,114	2,722
下 諏 訪 町		6,687	5,647	84.4	4,016	812
富 士 見 町		14,476	10,158	70.2	7,777	1,687
原 村		4,326	1,962	45.4	1,962	349
計		71,575	50,805	71.0	41,800	8,267
県 全 体		1,356,160	1,059,375	78.1	686,953	136,153

(2) 樹種別森林面積（民有林）

(令和元年9月1日現在)

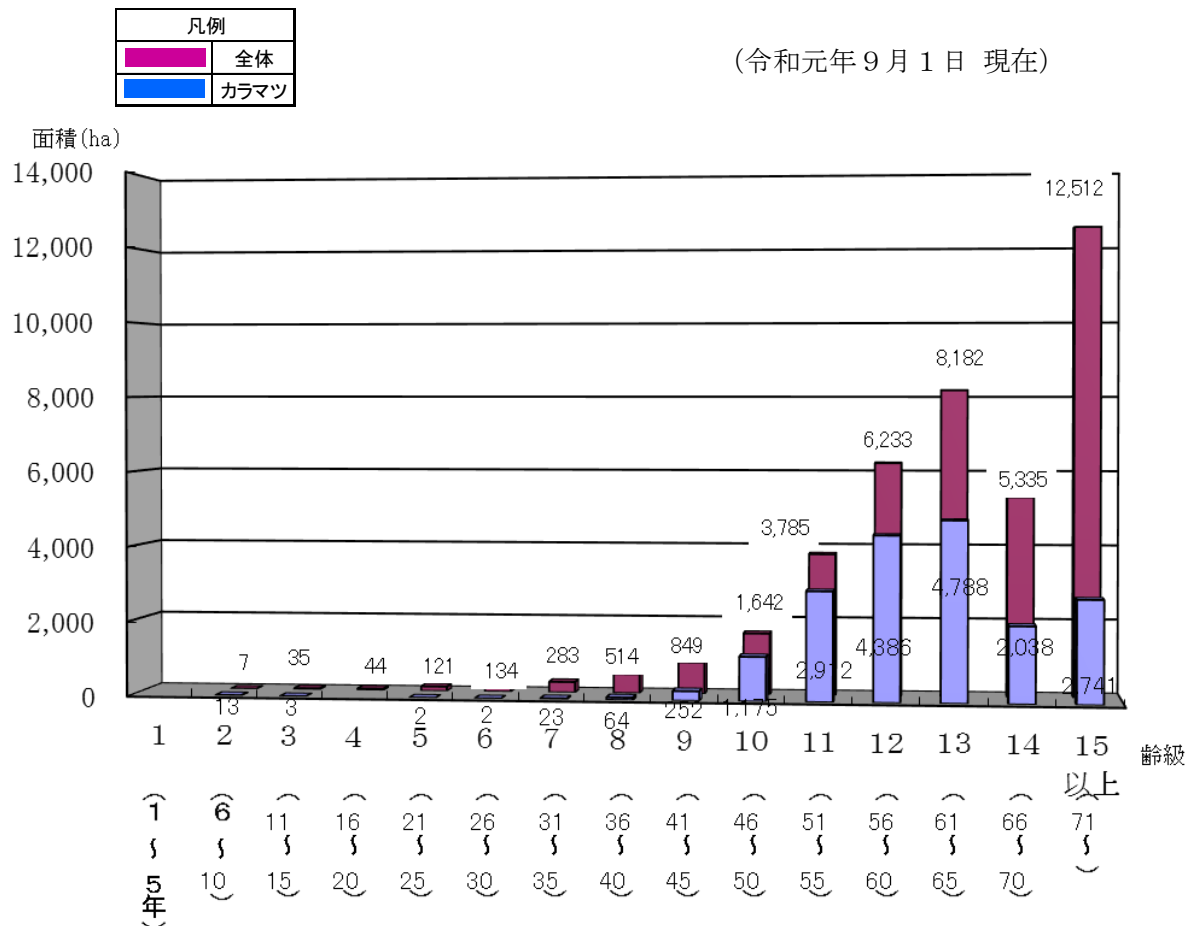


2 健全な森林づくり

管内の民有林は、戦後植林された森林が成熟しつつあり、計画的な間伐と搬出による材の利活用を推進している。

平成 20 年度からは、「長野県森林づくり県民税」を活用した事業を加え、健全な森林づくりに集中的に取り組んでいる。

(1) 民有林の齢級別面積



(2) 間伐実績と目標

(単位: ha)

区分	5 か 年 の 間 伐 実 績						R 元年度 目 標
	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	計	
管 内	952	824	804	747	915	4,242	700
県全体	16,761	15,221	13,634	11,314	10,992	67,922	

(3) 林業労働力

林業従事者数は 129 人で、森林組合及び素材・造林業（会社）・個人林業営業者・NPO法人が全体の 78%を占めている。（単位：者、人）

区 分	森林組合	素材・造林業(会社)	個人林業営業者	NPO法人	建設業(会社)	合 計
事業体数	1	10	1	1	6	19
比率	5 %	53 %	5 %	5 %	32 %	100 %
林業従事者数	15	66	6	13	29	129
比率	12 %	51 %	5 %	10 %	22 %	100 %

注) 平成 30 年度林業事業体調査による。

3 森林づくりのための基盤整備

(1) 保安林の面積

(令和元年 9 月 1 日現在)

種別	水源かん養	土砂流出防備	その他	計
			(土崩・防風・水害・干害・保健)	
面積	5,444ha	4,407ha	70ha	9,921ha
比率	54.9%	44.4%	0.7%	100%
民有林面積		41,799ha	保安林率	23.7%

注) 長野県民有林の現況(令和元年)による。

(2) 治山事業

保安林の機能を高度に発揮させるため、計画的な実施に努めている。(単位：円)

事業種別	令和元年度 実績		令和2年度 計画	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費
復旧治山	(1)	(49,572,000)		
緊急総合治山			1	24,600,000
緊急予防治山	2	40,990,000	(1)	(9,014,000)
緊急機能強化・老朽化対策			1	47,000,000
防災林造成	2	5,578,200	(2)	(7,425,000)
水源森林再生対策	2	18,995,000	1	6,000,000
奥地保安林保全緊急対策	(1)	(38,016,000)	(1)	(31,011,000)
予防治山	(1)	(8,851,600)	(1)	(38,005,000)
機能強化・老朽化対策	1	14,907,000	1	0
災害関連緊急治山	1	0	(1)	(19,347,000)
県単治山	(1)	(7,809,200)		
	4	37,878,850	4	21,000,000
計	(4)	(104,248,800)	(7)	(157,932,000)
	13	118,349,050	10	227,600,000

注1) ()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は発注工区数（委託を除く）

注2) 令和元年度ゼロ国債は、令和2年度に含む

注3) 令和2年度県単治山は、5月末時点の確定箇所・事業費

(3) 林道事業

林業経営の基盤である林道は、令和 16 年度末で林道密度 14.3m/ha を目標に整備を進めており、平成 30 年度末では 6.1m/ha、進捗率は約 42.7%となっている。

林道網整備長期計画（平成 7～令和 16 年度）

全体計画 林内道路		内 訳 (計画)				平成 30 年度末林道現況		
		林内公道		林 道				
延長	密度	延長	密度	延長	密度	延長	密度	進捗率
m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	%
899,000	21.6	301,568	7.2	597,432	14.3	254,837	6.1	42.7

(単位：円)

事業種別		年度	令和元年度 実績		令和 2 年度 計画	
			箇所数	補助対象額	箇所数	補助対象額
補助	林道	改良	(1) 1	(13,727,000) 0	(1) 2	(32,340,000) 119,900,000
		点検・診断	6	2,178,000		
	林業専用道	開設	1	18,700,000		
	林道施設災害	林道復旧			(1)	(2,453,000)
計			(1) 8	(13,727,000) 20,878,000	(2) 2	(34,793,000) 119,900,000

注) 上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は路線数 (点検・診断は委託)

4 野生鳥獣被害対策

特定鳥獣管理計画等にもとづき、捕獲及び捕獲個体処理対策、集落周辺の環境整備等を実施し、野生鳥獣による農林業被害の軽減を図っている。

(1) 野生鳥獣による被害額及び捕獲数（狩猟を含む） (単位：千円、頭・羽)

区分		年度					
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ニホンジカ	被害額	64,860	58,882	52,884	43,572	36,808	34,391
	捕獲数	5,002	5,749	4,216	3,628	3,533	3,431
ニホンザル	被害額	1,661	1,769	2,055	2,471	2,469	2,363
	捕獲数	141	107	111	50	46	39
カモシカ	被害額	5,545	6,205	3,413	3,153	3,656	1,637
	捕獲数	0	2	6	8	3	1
イノシシ	被害額	4,403	1,645	5,024	1,162	1,008	1,250
	捕獲数	141	172	88	139	138	148
その他 獣類	被害額	4,054	3,978	5,064	6,289	6,780	7,463
	捕獲数	242	284	375	367	368	399
鳥 類	被害額	5,883	5,428	4,717	5,509	8,367	6,959
	捕獲数	340	578	552	617	555	401
合計被害額		86,405	77,907	73,157	62,156	59,088	54,062

* 単位以下四捨五入の関係で縦集計は必ずしも一致しない。

(2) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (単位：円)

事業種別		令和元年度実績		令和2年度計画（要望額）	
		事業量	補助金額	事業量	補助金額
緊急捕獲 活動支援	有害捕獲	2,015 頭	12,565,000	3,160 頭	21,421,000
	(小 計)		12,565,000		21,421,000
国庫	広域捕獲支援	3 市町	731,000	3 市町	925,000
	(小 計)		731,000		925,000
県単	大型獣緊急捕獲・放獣 (ツキノワグマ放獣)	20 頭	757,200	12 頭	458,500
	シカ等個体数調整・捕獲	245 頭	598,500	765 頭	1,902,500
	集落等捕獲隊活動支援	1 市	284,000	1 市	350,000
	鳥獣被害対策実施隊員支援	6 市町 村	561,000	6 市町村	390,850
	残渣処理作設経費	7 箇所	319,500	4 箇所	200,000
	(小 計)		2,520,200		3,301,850
合 計			15,816,200		25,647,850

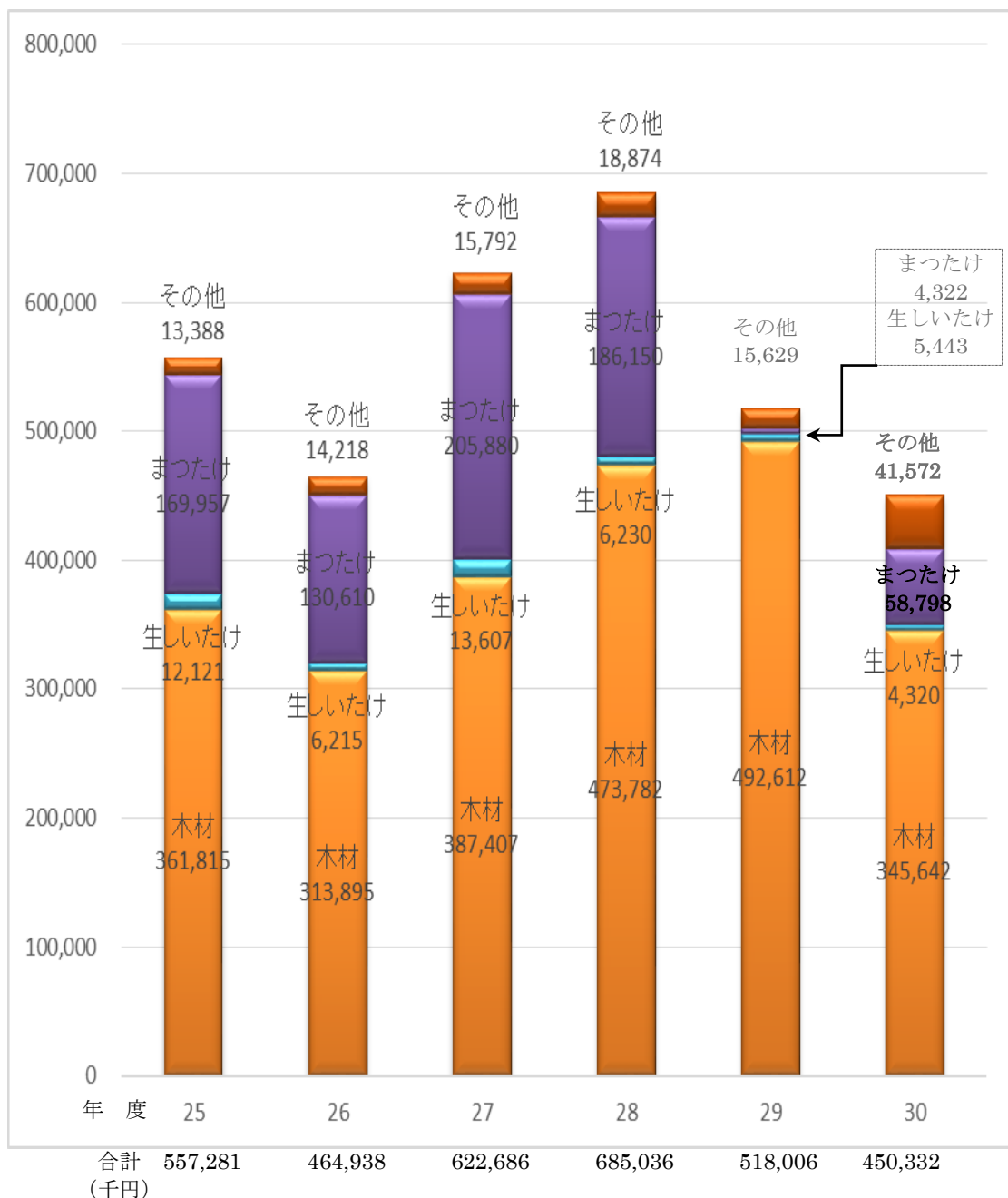
5 林業生産状況等

平成 30 年度の林業生産額は 450,332 千円で前年比 86.9%となった。

平成 30 年度は、台風災害により八ヶ岳山麓を中心に広範囲で被災したことなどから主伐・間伐の減による木材生産額が落ち込んだが、今後は、森林経営計画による計画的な生産が期待される。

一方、まつたけは、平成 29 年度の大凶作に比べ、平成 30 年度は並作となり生産額が回復した。今後も、条件が整えば豊作が期待できるため、各地でまつたけ山の手入れが盛んに実施されている。(H28:10.4 t、H29:0.1 t、H30:2.9 t)

林業生産額の推移



6 森林税活用事業

平成 30 年度から第 3 期目の森林税がスタートし、これまでの里山整備に加え、教育や観光等、多面的な森林の利活用に用途を広げ、地域や様々な分野の方々による主体的な里山の整備・利用を推進している。

令和元年度森林税活用事業実績

区分	令和元年度実施内容	箇所等	補助金額・面積等
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備			
防災・減災のための里山等の整備	【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐に要する経費を補助	諏訪振興局管内一円	20,625千円 77ha
⑧ ライフライン等保全対策	【みんなで支える里山整備事業】 集落や主要なライフライン(道路・線路・電線等)に接する森林において、倒木の恐れのある危険木伐採に要する経費を補助	諏訪振興局管内一円	45,247千円
県民協働による里山の整備・利用	【みんなで支える里山整備事業】 里山整備利用地域において、集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採、間伐等の経費を補助	茅野市 (永明寺山里山整備利用地域) 諏訪市 (北真志野里山整備利用地域)	5,999千円
	【里山整備利用地域活動推進事業】 里山整備利用地域において、里山整備活動、森林環境教育、薪生産活動、山菜・きのこ栽培・採取体験、野生鳥獣対策、案内板の設置等に係る経費を補助	茅野市 (永明寺山里山整備利用地域) 諏訪市 (北真志野里山整備利用地域)	290千円
	【里山資源利活用推進事業】 里山整備利用地域において、薪割機等資機材導入及び遊歩道整備に係る経費を補助	諏訪市 (北真志野里山整備利用地域)	1,125千円
地域で進める里山集約化事業	間伐事業実施地の森林所有者の合意形成のための取組に係る経費を補助	諏訪振興局管内一円	219千円 15ha
県単河畔林整備事業 (建設部)	長野県が管理する一級河川の河畔林整備に係る経費	一級河川 富士見町 富士見 乙貝川	6,303千円
	市町村が管理する準用河川の河畔林整備に係る経費を補助	準用河川 茅野市 中大塩 幸倉川 原村 八ツ手 前沢川	4,052千円
小計			83,860千円
2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用			
地消地産による木の香る暮らしづくり事業	学校における木工作など、県産材利用の取組に係る経費を補助	岡谷市(岡谷田中小) 茅野市(米沢小) 富士見町(富士見中)	350千円 37千円 500千円
小計			887千円
3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用			
森林の教育利用の推進	【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林の整備や、学校林を利用した活動に係る経費を補助	茅野市 (永明小:学校林整備) 茅野市 (米沢小:活動支援)	404千円 1.50ha 63千円
	【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地等の魅力向上を図るため、景観に合致した森林整備等に係る経費を補助	茅野市 ピーナスライン沿線	2,000千円 0.95ha
観光地における景観形成のための森林等の整備	【観光地の景観整備(建設部)】 観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備の実施	諏訪湖周 波崎～石舟渡(豊田)	10,000千円
小計			12,467千円
4 市町村に対する財政調整的視点での支援			
森林づくり推進支援金	森林に関する様々な課題解決のための市町村の独自の取組に対し支援	岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村	1,292千円 1,360千円 1,813千円 739千円 1,006千円 511千円
小計			6,721千円
合計			103,935千円